

これがオススメ! 読み聞かせ本

高学年向き

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がよいのか、どうやって読んであげたらよいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

この本は、イラストがとても魅力的で手に取りやすいのが特徴です。女性医師として生きつ

ました。
呼吸の五つを診断するものでした。一九六〇年頃には、日本をはじめ世界中の国で導入され、赤ちゃんの死亡率が大幅に減りました。
見・心拍数・筋肉の動き・反応・呼吸の五つを診断するものでした。一九六〇年頃には、日本をはじめ世界中の国で導入され、赤ちゃんの死亡率が大幅に減りました。

読み聞かせの前に、子どもたちに「あなたは、生まれてすぐに、最初のテストを受けたことを知っていましたか？」と聞くと、驚いて不思議そうな顔をします。この呼びかけの言葉は今回紹介する、アメリカの麻酔科医バージニア・アプガー博士の伝記の冒頭に書かれています。

博士は、新生児の死亡率が高かった時代に、生まれたばかりの赤ちゃんの健康状態をチェックする「アプガースコア」を生み出しました。その内容は、外見・心拍数・筋肉の動き・反応・呼吸の五つを診断するものでした。一九六〇年頃には、日本をはじめ世界中の国で導入され、赤ちゃんの死亡率が大幅に減りました。

博士は、新生児の死亡率が高かった時代に、生まれたばかりの赤ちゃんの健康状態をチェックする「アプガースコア」を生み出しました。その内容は、外見・心拍数・筋肉の動き・反応・呼吸の五つを診断するものでした。一九六〇年頃には、日本をはじめ世界中の国で導入され、赤ちゃんの死亡率が大幅に減りました。



わたしはみつけた！

バージニア・アプガー博士の
赤ちゃんの命をすくう発明

キャリー・A・ピアソン・文
さくまゆみこ・訳
ナンシー・カーペンター・絵
子どもの未来社